

## 株式会社北國フィナンシャルホールディングス 環境行動計画

令和5年3月9日

### 取組方針

株式会社北國フィナンシャルホールディングスは、地域社員の一員として、地域とのよりよい関係を築きながら、地域とともに発展していき事ができるよう、CSR（企業の社会的責任）のとりくみについて、充実・強化に努めております。本業である地域への円滑な資金供給や金融商品・サービスの提供はもちろんのこと、環境、スポーツ、教育、文化など、地域社会へのさまざまな取り組みを通じて、地域とのコミュニケーションを深め、地域金融機関として社会的責任を果たしてまいります。

このような取り組みの中で、この「環境行動計画」は、環境に配慮した事業活動を推進するために必要となる事項を定め、特に温室効果ガスの削減による地球温暖化防止を推進すべく、本計画書を作成いたします。

特に、事業活動において、省エネルギーと神購入量の節減に努め、併せてリサイクルも促進し、廃棄物の排出抑制にも取り組みます。

令和5年3月9日（制定年月日）

株式会社北國フィナンシャルホールディングス  
代表取締役社長 杖村修司

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標一	2030年度のCO <sub>2</sub> 排出量削減目標を2013年度（排出量：10,191t）比▲60%とする
具体的な取組	<p>（事業所または工場・施設での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 本店は全館LED照明、床・壁・天井の反射光、自然光の積極的な取込を行い、省エネを推進</li> <li>② 人感センサーを設置し、使用していないエリア（廊下、トイレ等）の消灯の徹底</li> <li>③ 業務の効率化による電気の使用時間の削減</li> <li>④ 消費電力監視システムを利用した節電</li> <li>⑤ クールビズの早期実施による、空調温度の適度な設定</li> <li>⑥ ウォームビズの早期実施による、空調温度の適度な設定</li> <li>⑦ 日々の営業活動では、外交用自動車の電気自動車やハイブリットカー活用によるガソリン使用量の削減</li> <li>⑧ 長年使用した外交用自動車を燃費良好な自動車への入替</li> <li>⑨ 行内でのアイドリングストップやふんわりアクセル「eスタート」を心がけたエコドライブの推奨</li> <li>⑩ 店舗新築時の環境に配慮した店舗づくり</li> </ul>
目標二	デジタルトランスフォーメーションの推進と浸透による社内のペーパーレス化を継続し、より一層の削減を図る。
具体的な取組	<p>（事業所または工場・施設での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 会議資料等はデータで共有し、印刷しないことを徹底する</li> <li>② 銀行窓口では伝票の起票をせずに、タブレットでの手続きを進めインターネットバンキングの推進によりデジタルバンクを通じたペーパーレスを進める。</li> </ul>

目標—3	リサイクルを通じて循環型社会の形成を目指し、廃棄物等の発生とその量、循環的な利用・処分の状況把握を行う。
具体的な取組	<p>(事業所または工場・施設での取組)</p> <p>① 本社および各グループ会社において、徹底した分別(新聞、雑誌、プラスチック、一般廃棄物、機密文書・・・等)を行う</p> <p>② 再利用可能な資源はリサイクルする</p>

目標—4	社員の環境に対する意識高揚
具体的な取組	<p>(事業所または工場・施設での取組)</p> <p>① 社員の環境意識レベル向上、および環境活動への参加</p> <p>② 事業活動における購入品は、リサイクル製品を優先対応</p>

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、経営会議を設け、広報 IRG より各社に周知・行動喚起を行い、全社員が「具体的な取組」を実行します。

